

## セミナープログラム

カンファレンスの言語：英語（英語/日本語の同時通訳付）

→ 各国の航空宇宙産業の現状と・主要バイヤーによる調達ポリシー (Part 2)

開催場所：交流センター4F 第7会議室

**2012年10月11日(木)**

10:00am～10:30am	歓迎および登録
10:30am～11:30am	<p><b>韓国および日本がどのように航空宇宙産業の分野において協力できるか</b>          韓国航空宇宙方針研究所 (Korea Aerospace Policy Research Institute) 主任研究員、韓国航空大学 (Korea Aerospace University) 博士号、Choon Young (Peter) SONG 氏、</p> <p>韓国と日本は、近隣国であるにも関わらず、航空宇宙産業の分野において交流はほとんどありません。韓国における代表的な航空宇宙組織である韓国航空宇宙産業協会 (Korea Aerospace Industry Association) (KAIA) は、韓国航空大学 (Korea Aerospace University) (KAU) と提携し、韓国と日本の協力方法について研究してきました。研究に基づき、両国の航空機および宇宙産業の歴史および現状を要約し、両国の基本レベルでの協力方法を策定するための可能な代替案を提案します。</p>
11:35am～12:10am	<p><b>・ EADS/Airbus グローバル調達</b>          国内調達業務代表 – 北東アジア、European Aeronautic Defence and Space company (EADS) 社 Antoine GAUGLER 氏          EADS は、2020 年までに 40%の調達を西ヨーロッパ圏外で行うことを目標に、グループにとりグローバル調達が主な長期目標であることを特定しました。この EADS の調達の足跡のグローバル化を促すために、統合した EADS Airbus Global Sourcing Network (GSN) が設立されました。ヨーロッパがベースの GSN 中央チームは、北東アジアなどの重点地域において国内調達業務 (Country Sourcing Officer) を運営しています。</p>
12:15pm～12:45pm	<p><b>・ Avio 社による企業調達</b>          Avio 社スカウト活動および新規ソース統合マネージャー、Paolo SCIASCIA 氏、Avio は、航空宇宙産業における世界的リーダーであり、航空宇宙の世界において最も豊かな歴史の 1 つを持っています。Avio は、ライト兄弟による初めての飛行からわずか 5 年後の 1908 年に設立され、継続する研究、開発、および製品およびサービスの向上の歴史により、航空宇宙推進における重要な役割の 1 つを担うまで発展しました。このプレゼンテーションでは、新規サプライヤーのスカウト活動および統合に焦点を置き、世界の新規ソースの検索から Avio システム内での製品および企業の適格性までの過程について説明しながら、新規企業調達の組織および方針について紹介します。</p>
12:45pm～1:25pm	休憩
1:25pm～2:30pm	<p>→ <b>ケベック航空宇宙、重要かつ幅広い部門</b>          ケベック州航空宇宙研究革新連合体 (Consortium for Research and Innovation in Aerospace in Québec) CRIAQ 社長および CEO 特別補佐、André BAZERGUI 氏          ケベック州投資公社 (Investissement Québec) (IQ) 日本代表、Mohan PATEL 氏</p>

	<p>ケベックの航空宇宙産業は、世界クラスの製造者、有名な OEM、一流の下請業者およびサプライヤー、経験があり競争力の高い労働者を訓練する名高くユニークな教育機関、そして著名な研究所から構成されています。また、国際航空輸送協会（IATA: International Air Transport Association）、国際ビジネス航空委員会（IBAC: International Business Aviation Council）、国際民間航空機関（ICAO: International Civil Aviation Organization）などの国際機関の本部があります。</p> <p>航空宇宙産業の企業、教育、科学、および協会の部門の主要なプレーヤーがこのように集中して存在することで、例外的な工業および研究能力が地域に与えられます。</p> <p>98%のケベックの航空宇宙活動は、大モントリオールに集中しており、同地域は、シアトルおよびトゥールーズに並び世界の主要な航空宇宙センターの1つとなっています。同地域は、事業および研究開発の提携の興味深い機会を提供します。</p>
<p><b>2:35pm～3:05pm</b></p>	<p>・ <b>川崎重工業 航空宇宙カンパニーの資材調達 - 方針と施策 -</b></p> <p>川崎重工株式会社 航空宇宙カンパニー 生産本部資材部 部長 杉谷尚志氏</p> <p>まず、川崎重工業株式会社は、同社の組織、歴史、そして主要製品について説明をします。次に、2012 年の同社の調達量、調達方針、コスト削減活動、およびサプライチェーンマネジメント方針について説明します。</p>
<p><b>3:10pm～4:15pm</b></p>	<p>→ <b>マレーシアの航空宇宙産業の展望</b></p> <p>航空宇宙/先端材料、マレーシア高度技術活用官民グループ (Malaysian Industry - Government Group for High Technology) (MIGHT) 代表、Shamsul Kamar ABU SAMAH 氏、</p> <p>マレーシアの航空宇宙産業の発展は、National Aerospace Blueprint により導かれています。政府は、マレーシアの航空宇宙審議会を通じ、地域工業の発展を更に加速させるための戦略的構想を支持しました。マレーシアの航空宇宙産業の展望に関するプレゼンテーションでは、マレーシアの航空宇宙産業の背景の中で、産業の構造および主要なプレーヤー、産業の最新の進展、および政府のイニシアチブに焦点を置きます。更に、プレゼンテーションでは、投資および産業の提携についてを中心にマレーシアにおける機会について説明します。</p>
<p><b>4:15pm～5:15pm</b></p>	<p>→ <b>イギリス産業の概要</b></p> <p>ADS イベントおよび市場開発、ディレクター David SCOTTER 氏</p> <p>イギリスの航空宇宙部門は、すべての利害関係者に高収益をもたらす成功し、活気があり、価値の高い技術工学、製造、およびサービス産業です。同産業は、毎年 200 億ポンドを超える付加価値収益、そして 10 万人の直接雇用、および 22 万人の非直接雇用の創出により、イギリス最大の輸出業の 1 つとなり、28 億ポンドをイギリスの貿易収支に毎年加算し、イギリスのすべての地域において約 2600 社との取引があります。同産業は、すべてのレベルの技術および科学、生産、サービス、研修、および金融技術における高価値の技能および訓練の幅広い大規模なニーズが特徴です。産業として、多数の循環を通じて抵抗力があり、部門として近年の世界不況においても納品および利益を維持できることを証明しました。</p>